



8
2025

第10号

スマート農業のトピックを配信！

スマート農業インフォメーション第10号では、生産方式革新実施計画の中でも認定数が多い「水稻」の認定事例を特集します。また、計画の認定を受け、ほ場の大区画化と水管理システム導入に取り組む「株式会社黒澤ファーム（山形県南陽市）」に取組を伺いました。新たに計画認定を受ける農業者の皆様の参考になれば幸いです。

水稻栽培における生産方式革新実施計画の認定事例

現時点の水稻栽培の認定事例のうち、特に認定を多く受けているスマート農業技術と新たな生産の方式の組み合わせについて、新たな生産の方式ごとに紹介します。

①ほ場の大区画化

(+自動操舵トラクタ等)

ほ場の大区画化により、自動操舵や自動走行の乗用農機や、水田の水管理システムなど様々なスマート農業技術を効率よく稼働させることができます。

(株) 三共作業場

水管理システム



自動操舵トラクタ



ほ場の大区画化

②直播栽培の導入

(+ドローン等)

ドローン等による直播と、直播適性品種や、コーティング種子の導入など、地域特性に応じた直播栽培体系への変更をセットで行う事例です。

(株) BASE09

農業用ドローン



直播栽培体系の導入
(直播適性多収品種、
コーティング種子の導入)

③データの共有、比較、分析

(+栽培管理システム等)

収量コンバインで得られる収量・食味のデータや圃場画像の分析により得られる生育ムラなどのデータを、地域の農業者や専門知識を持つ農業普及員やサービス事業体と共有や比較、分析をし、施肥の最適化等の栽培管理に活用します。

(株) 相川ファーム

収量計測機能付き
コンバイン



データ共有・分析

営農指導員

(株) 杉村農園

栽培管理支援システム



データ共有・分析

サービス事業者
他の農業者

生産方式革新実施計画の認定事例

株式会社黒澤ファーム（山形県南陽市）

—「水管理システム」+「畦畔除去によるほ場の大区画化」—

水稻において、畦畔除去によるほ場の大区画化とともに均平化を行うことで、水管理システム1台当たりの作業効率の向上を図り、労働生産性の向上を実現する。

Q 認定を受けた取組についてお聞かせください。

水管理システムをすべての水田に導入するという計画で認定を受けました。入水ゲートと排水ゲートを設置しスマート等でゲートを操作することで、遠隔で水田の水管理ができます。また、畦畔除去による大区画化と圃場の均平化も同時にいます。圃場の面積を広げ、圃場の水位の偏りをなくすことで、1基の水管理システムで広い面積を管理することができます。

現在所持する水田100枚すべてにシステムを入れると100基の機器が必要になりますが、大区画化により水田の枚数を50枚に減らし、導入するシステムの台数を少なくすることで、機器導入のコストを抑えつつ、システム1基あたりの導入効果を最大化しようと考えています。



黒澤ファームの皆様

Q スマート農業機器を導入する理由と、計画認定を受けるメリットについて、教えてください。

所有する水田面積は現状で30haと広いのですが、1つ1つの水田の規模が小さく、特に水管理が困難になっていました。今後、経営規模拡大を行うにあたり、煩雑な水管理を楽にするため、システムを導入することにしました。

計画認定のメリットとして、補助金等のポイント加算や優先採択等が受けられるということなので、ぜひ活用したいと思っています。



レベラーによる均平化作業

Q 水稻の生産性向上に向け、今後の意気込みをお聞かせください。

水稻栽培で使用できるスマート農業機器はいくつかありますが、水管理システムは、大型の機械に比べて導入がしやすく、効果も実感しやすいものだと思います。今回は水管理システムの導入について認定を受けましたが、農地の大区画化により、他のスマート農業機器についても導入の効果が出やすくなります。そのため、2、3年後にはロボットトラクタの導入も検討しています。

今後も、省力化、効率化に関する取組を進めて、経営の強化につなげていきたいです。



株式会社黒澤ファーム事務所

生産方式革新実施計画が認定されました

これまでの累計で、生産方式革新実施計画57件、開発供給実施計画41件が認定されました。
計画の申請は、随時受け付けています。申請・相談先など、ホームページも御覧ください。



スマート農業技術活用促進法
ホームページはこちら

生産方式革新実施計画の認定状況

- SKファーム（株）（青森県つがる市） 8月7日認定



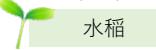
自動操舵トラクター、収量計測機能付きコンバインと、機械稼働面積を拡大する作期の異なる品種を導入

- SKファーム（株）（青森県つがる市） 8月7日認定



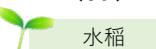
労働生産性を向上する自動操舵トラクターの導入と、機械の旋回を効率化する枕地の確保を実施

- (株) 井上農場（山形県鶴岡市） 8月7日認定



栽培管理システムのデータを他の生産者と共有。分析データを基に場ごとの栽培管理を実施

- (株) ベイファーム（香川県観音寺市） 8月7日認定



労働生産性や品質・収量の向上を実現するスマート農業機械と、機械稼働面積を拡大する作期の異なる品種を導入

- (株) ミヤモトオレンジガーデン（愛媛県八幡浜市） 8月7日認定



労働生産性を向上する農業用ドローンの導入と、ドローン作業に適した剪定による樹形の変更を実施

- (農) 和久楽（山形県村山市） 8月28日認定



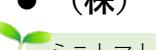
収量計測機付きコンバインによって得られたデータを他の生産者と共有し、分析データに基づき適正施肥を実施

- (農) ファーマーズ稻（新潟県上越市） 8月28日認定



作期分散で自動操舵装置の稼働率を向上するとともに、生育データ等を他の生産者と共有して肥培管理に活用

- (株) トクイテン（愛知県名古屋市） 8月28日認定



自動収穫ロボットを導入してミニトマトを自動収穫。ロボット収穫に適した品種の導入と通路の整備を実施

- (合) みなみ農園（三重県伊賀市） 8月28日認定



直播を効率的に実施する農業用ドローンの導入と、機械稼働面積の拡大のための新たな品種の導入

- (合) Mirai farm（鳥取県西伯郡） 8月28日認定



直播を効率的に実施する農業用ドローンの導入と、機械稼働面積の拡大のための新たな品種の導入



自動操舵機能付き乗用管理機
(農) ファーマーズ稻



農業用ドローン
(合) みなみ農園



ミニトマト自動収穫ロボット
(株) トクイテン





ビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード2025」開催！

内閣官房主催の地理空間情報（注）を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」が開催されます。昨年度は株式会社ハタケホットケの「水田雑草対策ロボット ミズニゴール」、一昨年度はエゾワイン株式会社の「レポサク」が最優秀賞を受賞するなど、農業分野での受賞実績もあるアワードです。ぜひご応募ください。

<募集部門>

ビジネス部門
アイデア部門
不動産情報活用部門

表彰式は1/30(金)
東京ビッグサイト
「G空間EXPO」で開催

<募集期間>

ビジネス部門
10月15日（水）20時まで
アイデア部門/不動産情報活用部門
10月31日（金）20時まで

<募集対象>

- ・個人・グループ、法人いずれも応募可
 - ・年齢制限なし（学生の方にも参加いただけます）
 - ・同一人物からの複数アイデアの応募も可能
- ※他薦も可能

<応募方法>

応募フォームから応募
(必要書類については募集要項をご確認ください)

<応募説明会>

9/4(木) 18:00～（対面/オンライン、事前申込要）
9/9(火) 12:00～（オンライン）

→既に終了した回のアーカイブ配信もされています。
HPからご確認ください。

（注）「いつ・どこで・何が・どのような状態か？」といった位置や時間に関する情報のこと

HPは
こちら

募集要項は
こちら



★IPCSA（スマート農業イノベーション推進会議） 会員を募集しています★

農業者を中心とした多様なプレイヤーによる
コミュニティ形成を通じて、スマート農業技術の
活用促進に関する課題解決を図ります。



会員登録は
こちら



スマート農業インフォメーションについて

最新の計画認定案件などの掲載を予定しています。
本紙への御意見・御感想、取り上げてほしいテーマのほか、みなさまが取り組まれているスマート農業技術の活用について紹介してほしい！といった声もお待ちしています。

【発行】農林水産省大臣官房政策課技術政策室（IPCSA事務局）
メールアドレス：jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com

農林水産省
MAFF